

# 輝人

かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで  
“輝く人”を紹介し、  
第51回は、  
山之上店 副店長の安留 舞さんを  
クローズアップします！

## 私には私のタイミングがある。 焦りも不安も味方にして、 自分らしく前に進みたい。

### 忘れられない最終面接日のこと

管理栄養士の資格を活かしたいと思い、ドラッグストアへの就職を希望していた安留さん。入社を決め手となったのは“人”だった、と当時を振り返る。「友人が教えてくれたことがきっかけでアカカベを知りました。自分らしく長く続けられる職場を希望していたのですが、説明会でお会いした採用担当の方たちからあふれる優しくアットホームな雰囲気に惹かれ、直感的に“ここだ!”と思いました。最終面接日当日、緊張しながら本社に向かっていると、人身事故の影響で乗っている電車がストップしてしまいました。土曜日だったので会社に電話が繋がらず、無我夢中で思いつく店舗に電話をかけ、採用担当の方に連絡を繋いでいただきました。予定時間を大幅に過ぎてなんとか本社に到着した時、『お疲れさま、大変だったね!』と笑顔で迎えていただいた時のことは、今でも鮮明に覚えています。あの時電話を繋いでくださった店舗の方にも感謝しています。ありがとうございます。」

### 仲間であり、ライバル。 なくてはならない同期の存在

入社してからこれまで、3つの店舗を経験し4人の店長の下で学んできた。すべての教えがありたく、今の自分を支えているという。副店長の今、次の目標は店長になる



安留さんの  
仕事における  
モットー

### 「店長の仕事をどれだけ減らせるか」

以前お世話になった店長から言われていた「一般社員は副店長の仕事を、副店長は店長の仕事を取ってくる」という教えが、仕事をする上での自分のモットーになっています。

安留 舞  
(やすどめ まい)

2019年 新卒入社。  
初配属は禁野店。2020年招提中町店のオープンに伴い異動、昨年11月に副店長として山之上店に着任した。副店長、リクルーター、管理栄養士として活躍中。

こと。同期たちが、店長として店を任されていく中で感じた思いを話してくれた。「店長になることを目標にやってきたので、同期の中から店長昇格が出るたびに“おめでとう、だけど悔しい!”という複雑な気持ちでした。そういう意味では負けず嫌いな性格なのかもしれません(笑)。私にとって同期のみんなは、仲間でもあり良い意味でのライバル。なくてはならない存在です。店長として奮闘している同期の姿を見て、私もがんばろう!という力ももらっています。本日は同期の中で一番に店長になりたかったけど、私には私のタイミングがある。今私がやるべきことは何なのかを常に考え、真摯に向き合いたいと思っています。」

### リクルーターとしてのやりがい

自身をアカカベに導いてくれたあの人たちのように、自分も学生のみなさんに会社の良さを伝えたい。採用の仕事に興味を持った安留さんは、約2年前から、店舗業務と並行

してリクルーターとして活動している。「人と話すのが好きで、人事の仕事にも興味がありました。店舗業務と並行して採用活動に関わることができるのは、アカカベだからこそできるチャレンジだと思います。昨年入社してくれた後輩から『安留さんが居たからアカカベに決めました』と嬉しい言葉をもらった時は、大きなやりがいを感じました。」

### 自分の可能性を信じて、 挑戦し続けたい

今年で入社5年目を迎える安留さん。5年分の成長を糧に前向きに未来を見つめる姿に、大きな可能性を感じた。「機会をいただけるなら、経験できることは何でも挑戦したいと思っています。アカカベは“やってみよう!”という思いを応援してくれる会社なので、チャンスをいただいた時に自信を持って手を挙げられる自分でいられるように。そのためには、自分自身も成長し続けていきたいです!」